

# せんせい、 いつもありがとう

～ 保育士の先生に日ごろの感謝の気持ちを伝えてみませんか？ ～



日々、おしごとにがんばっている保育園や幼稚園のせんせいのみなさんに「ありがとう」の気持ちを伝えてみませんか？

みんなで、保育士や幼稚園のせんせいをおうえんしよう！

投稿は、保護者、園児、卒園児などだれでもOK！

以下の専用フォーム（とっとり電子申請システム）から投稿をお願いします。

（投稿期限：令和6年8月末まで）

## 投稿にあたっての注意点

- 投稿内容は、
  - ① 投稿者名（ニックネーム、匿名可）※回答任意
  - ② 保育施設名・施設所在市町村名 ※回答任意
  - ③ 感謝・応援メッセージ（100字以内）になります。
- いただいたメッセージは公表させていただきます。
- 園や先生等の個人名を入れても構いませんが、内容によっては公表しない場合もありますのでご了承ください。
- 誹謗中傷、意見・要望等は受け付けませんのでご了承ください。

<投稿フォーム>



問合せ先

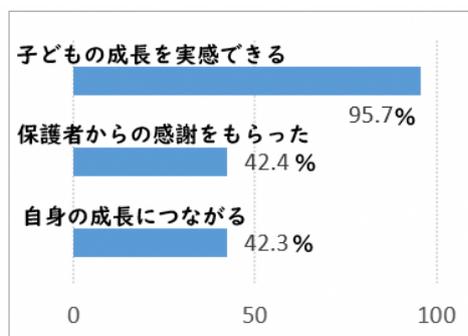
鳥取県子ども家庭部子育て王国課保育・幼児教育担当  
電話：0857-26-7570 メール：kosodate@pref.tottori.lg.jp

保護者のみなさんや子どもたちからの感謝の言葉やありがとうの気持ちが、保育士の毎日の活力やエネルギーになっています！

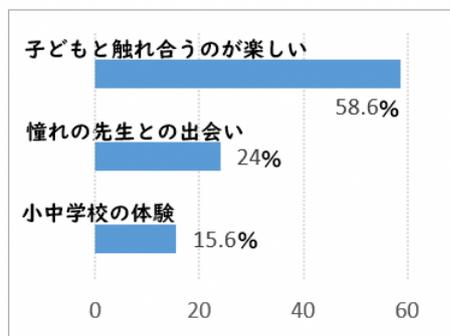
※令和5年度保育人材確保・定着に関する実態調査、新人保育士向け合同研修会での意見

## ●保育士になったきっかけや保育士になってよかったこと

<保育士になったきっかけ>



<保育士になってよかったこと>



## ●保育士になって一番うれしかったこと

- ・保護者から「先生が担任でよかった」「来年も担任してほしい」と言ってもらえたこと。
- ・保護者との信頼関係が築けて、困り事や相談をしてもらったこと。
- ・保護者から「子どもが家で嬉しそうに先生のことを話していました」と聞いたこと。
- ・保護者や他の職員と一緒に子どもの成長を共有できること。
- ・保護者から「ありがとう」と言ってもらえたこと。
- ・子どもから「先生みたいな保育士になりたい」と言ってもらえたこと。

保育士のみなさんは、子どものことを中心に考えて、毎日の保育に取り組んでいます！

## ●日々の保育活動について思うこと

- ・保護者が子どもを預けやすくなる一方、親と子どもと一緒に過ごす時間が減っているのは悲しい。大切な乳幼児期に親子が心穏やかに共に過ごせる社会であってほしい。
- ・保護者には子育ての楽しさや喜びを感じてほしい。
- ・近年メディアで流れている園児虐待やバス事故等の事件は本当に許せない。絶対にあってはならないこと。でもその裏には保育士不足や過大な業務負担があるのは事実。
- ・園での事故を減らし子どもの命を守るためにも、現場の保育士の数を増やしてほしい。
- ・本当は子どもたちにいろんな遊びを経験させたいが、事故の心配もあり、躊躇してしまうのが悔しい。
- ・子育ては、保護者と保育士の両輪でやっていきたい。子どもたちは家でのことを楽しそうに話してくれる。

保育所等で年度途中に子どもたちの受入れができないのは、主に保育士不足が原因です。保育士の活動にご理解とご協力をお願いします。

